

家畜市場 価格の推移 (9月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位：円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	10	8	80.0%	142,560	1,080	54,864
	雄	237	209	88.2%	52,920	1,080	26,184
計	247	217	87.9%	142,560	1,080	27,345	63
F1	雌	198	180	90.9%	167,400	3,240	122,613
	雄	208	196	94.2%	210,600	1,080	164,524
計	406	376	92.6%	210,600	1,080	144,085	57
ホルス(5才) 雌	46	43	93.5%	331,560	75,600	207,900	718

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位：円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	9日	605	441	72.9%	759,240	261,360	531,480
南北海道	12日	127	109	85.8%	606,960	327,240	514,516
釧路	17日	269	185	68.8%	705,240	346,680	527,379
根室	18日	475	393	82.7%	804,600	314,280	554,941
豊富	19日	326	210	64.4%	619,920	378,000	519,125
北見	24日	374	294	78.6%	690,120	335,880	534,633
十勝	25日	543	430	79.2%	882,360	316,440	555,999
合計		2,719	2,062	75.8%	882,360	261,360	534,010

業務報告 (9月分)

- 1日 第七回理事会
- 2日 ひろらく女性グループ連絡協議会委員会
山県・安芸高田市共進会巡回審査
- 3日 広路ホルスタイン改良同志会役員会
中販連会員実務責任者会議
TMR検討会
- 4日 毒劇物取扱者試験
三原市共進会巡回審査
広島県産応援登録制度説明会
- 5日 広島市酪共進会巡回審査
西部酪共進会巡回審査
第一回生産委員会
導入互助運営委員会
- 8日 三次市共進会巡回審査
庄原いちばん逸品部会
中四国JAトップセミナー(二日間)
賀茂地域酪農団体連絡協議会役員会
広島市酪共進会
- 9日 後代検定娘牛生産調整ブロック会議
JAグループ広島改革プラン検討専門委員会
福山市共進会
元気な広島県農業戦略会議
牛乳普及協会運営委員会
JAメンタルヘルス研修会
- 10日 西日本酪農青年女性会議三役・事務局会議
山陽乳業(株)経営検討会
賀茂地域共進会巡回審査
中販連理事會
ヘルパー調整会議
佐伯地区畜産共進会
JA監事研修
西部地区交流会
動物愛護の集い
TMR飼料利用者意見交換会
飼料イネ収穫機運転現地確認
死亡牛適正処理に係る会議
普及協会ポスターコンクール審査
北部地域家畜診療所運営協議会
全国JAコンプライアンス実践トップセミナー
山陽乳業(株)棚卸監査
牛乳普及協会料理コンクール審査
- 11日
- 16日
- 17日
- 19日
- 20日
- 24日
- 25日
- 29日
- 30日

編集後記



▼今年の夏場、特に八月の雨天続きには『うんざり』した方も多かったものと察します。

▼七月は猛暑の子感で、昨年、一昨年の酷暑は愛牛に甚大な影響を及ぼしました。

▼酷暑の影響は、受胎遅延を招き、今年十一月以降に分娩が集中して大変との声も聞こえています。

▼併せて、乾乳牛を抱えていることで、日々の乳量はず資金繰りが厳しいと訴えられます。

▼また懸念材料は、分娩によって期待できるF1子牛価格がここに来て若干値下がり傾向にあるともらわれます。

▼「乳価交渉の行方はどの様になっているのか」、「指定生乳生産者団体は、生乳生産基盤が益々脆弱化する様相を呈しているが何をやっているのか」と切実な声も届いています。

▼平成二十五年度の乳価交渉では、『ミルク年度』の言葉も生まれ、この年度期間は、平成二十五年十月一日から平成二十六年九月三十日を指します。

▼中国生乳販連は、新たなミルク年度(平成二十六年十月一日から)に備えて、生乳五円/kgの値上げ要求をもって乳業者との交渉にあたりつつありますが、未だ決着には至っていません。

▼日本全国の生乳不足は既成の事実であり、後継者の就農、生乳生産基盤の復元への特効薬は「まずは

■市町別生乳受託量の進捗状況(9月)

(単位：トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	26年度累計	前年比(累計)
庄原市	884.3	22.3%	97.4%	5,784.6	100.5%
三次市	764.0	19.3%	94.4%	4,925.5	94.5%
世羅町	540.4	13.6%	105.2%	3,421.3	107.6%
北広島町	378.3	9.5%	85.1%	2,419.1	84.3%
安芸高田市	361.8	9.1%	96.8%	2,271.2	98.0%
東広島市	349.5	8.8%	94.4%	2,222.3	105.0%
府中市	207.2	5.2%	91.1%	1,385.1	91.5%
福山市	113.0	2.8%	91.0%	756.3	97.3%
三原市	97.4	2.5%	94.8%	587.8	87.2%
広島市	93.2	2.3%	53.1%	609.3	53.7%
神石高原町	77.2	1.9%	85.5%	534.8	89.5%
廿日市市	52.7	1.3%	97.5%	361.8	98.0%
呉市	49.9	1.3%	100.8%	313.5	105.1%
合計	3,968.8	100.0%	93.5%	25,592.6	95.4%

■プール乳価(9月)

9月分プール乳価	前月分プール乳価	前月対比
109.134 円/kg	105.958 円/kg	102.9%

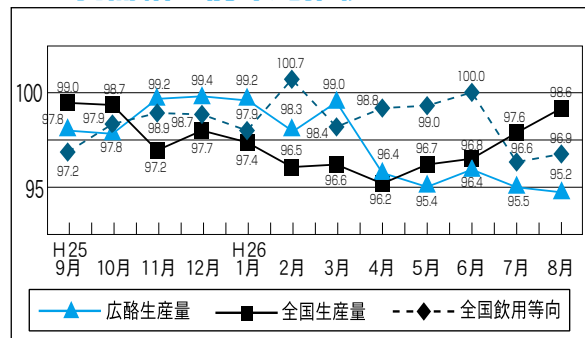
■生乳受託実績(9月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	44	12	45	45	146
生乳出荷量(トン)	1,457.1	399.4	885.9	1,226.3	3,968.8
前年同月対比(%)	96.7%	95.1%	84.5%	96.7%	93.5%
前月対比(%)	95.8%	99.6%	96.2%	96.4%	96.4%
生乳出荷累計(トン)	9,470.1	2,535.8	5,661.5	7,925.2	25,592.6
広酪構成比(%)	37.0%	9.9%	22.1%	31.0%	100.0%

■市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(8月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	46,375	934	28.6%	49.6
2	三次市	34,800	782	21.5%	44.5
3	安芸高田市	20,235	369	12.5%	54.8
4	北広島町	14,994	395	9.3%	37.9
5	府中市	13,788	214	8.5%	64.4
6	世羅町	7,212	563	4.5%	12.8
7	東広島市	6,195	351	3.8%	17.6
8	福山市	5,372	115	3.3%	46.7
9	三原市	5,112	101	3.2%	50.6
10	廿日市市	3,720	58	2.3%	64.1
11	神石高原町	3,076	81	1.9%	37.9
12	広島市	784	97	0.5%	8
13	呉市	292	49	0.2%	5.9
合計		161,961	4,115	100.0%	38.1

■生乳需給の前年比推移(8月) (単位:%)



■人事異動のお知らせ(平成26年10月1日)

職員氏名	新	旧
中山 篤志	事業推進課長兼 みわTMRセンター所長 (嘱託・再雇用)	事業推進課長兼 みわTMRセンター所長 (平成26年9月30日付 け定年退職)
河野 妙子	西部事業所 (嘱託・再雇用)	西部事業所主任 (平成26年9月30日付 け定年退職)
藤川 依子	三次CS生乳検査室 経営指導相談係・ 乳質改善係(兼務)	総務管理課付け

要求乳価の獲得」にあると思います
が、如何でしょうか？

▼平成二十六年生乳生産目標数量
は七百三十万トンであります。前
年対比九十六％前後の終着点と
なる予感さえします。

▼一方で、日本の平成二十六年米
の生産量は、目標数量七百六十五
万トンに対して七百九十万トンと
二十五万トン過剰と云われていま
す。

▼「需要無くして生産無し」の過去よ
く使われた言葉を思い出しますが、
世界情勢が不安定な中で、食料は
十分備蓄しておくことが必要と思
えてなりません。